

平成 28 年 11 月 13 日  
京丹後市文化財保護課

## 1 遺跡の概要について

京丹後市網野町に所在する網野銚子山古墳は日本海側最大の前方後円墳（推定全長 198m）です。

当古墳が築かれたと推定される 4 世紀末～5 世紀前半は、丹後地方に一定の政治勢力があったのでは？と言われ、いわゆる「丹後王国論」を裏付ける遺跡と考えられます。被葬者は不明ですが、大和政権と関係を持ち、日本海側で交易等に携わった地域の有力者であると考えられます。

なお、当古墳は大正 11 年 3 月 8 日に国の指定史跡になっています(平成 23 年 9 月 21 日追加指定)。

## 2 調査の目的について

### (1) これまでの経過

市教育委員会では史跡の適正な保存と活用を図るため、平成 19 年から 3 ヶ年をかけて範囲確認のための調査を実施し、古墳築造時の造作範囲をほぼ確定しました。平成 23 年に史跡範囲の追加指定がされ、さらに平成 24 年から 3 ヶ年をかけて指定地の公有地化を進めました。今後、網野銚子山古墳及びその周辺を保存するとともに市民が歴史・文化とふれあう学習や憩いの場として活用するため、整備事業を行う予定です。

### (2) 今回の調査について

整備事業を行うために問題となったのが、墳丘裾部分が後世に大きく削平を受け、正確な全長や外部を覆う葺石（ふきいし）等の状況、さらに古墳を取り巻く周溝（しゅうこう）の構造がよくわからない点でした。

昨年度、比較的墳丘の残存状態の良いと思われる、前方部東角付近を調査しましたが、開墾等で削平が地中深くまで及び、明確な構造がつかめませんでした。有識者などで組織する史跡整備検討委員会で検討を行い、古墳築造過程や整備に必要な資料を得ることを目的に、今年度、範囲を拡大し追加調査を行うこととしました。

## 3 調査成果

- (1) 前方部分の墳丘盛り土先端部分の状況を確認しました。
- (2) 後円部先端及び裾部分の葺石、埴輪の設置状況を確認しました。
- (3) 周溝外部で周堤（しゅうてい）と呼ばれる土盛を確認しました。
- (4) 墳丘前方部の裾部の範囲を確認し、復元につながる資料が得られました。
- (5) 後円部と比較して、前方部東側では葺石や埴輪などの残存が少ないことがわかりました。

今後、調査成果を史跡整備検討委員会で検討し、その結果を昨年から行っている古墳詳細地形測量のデータと照合し、古墳のより正確な規模や形状を復元することが期待されます。また、今回の調査で確認が出来なかった点は今後検討し、調査を続ける予定です。

## 出土遺物

### 1 埴輪破片



丹後型円筒埴輪（参考）

### 2 弥生土器（台付鉢）



周溝の下層から出土。古墳の築かれる前の弥生時代の遺物と考えられます。

### 3 調査風景

